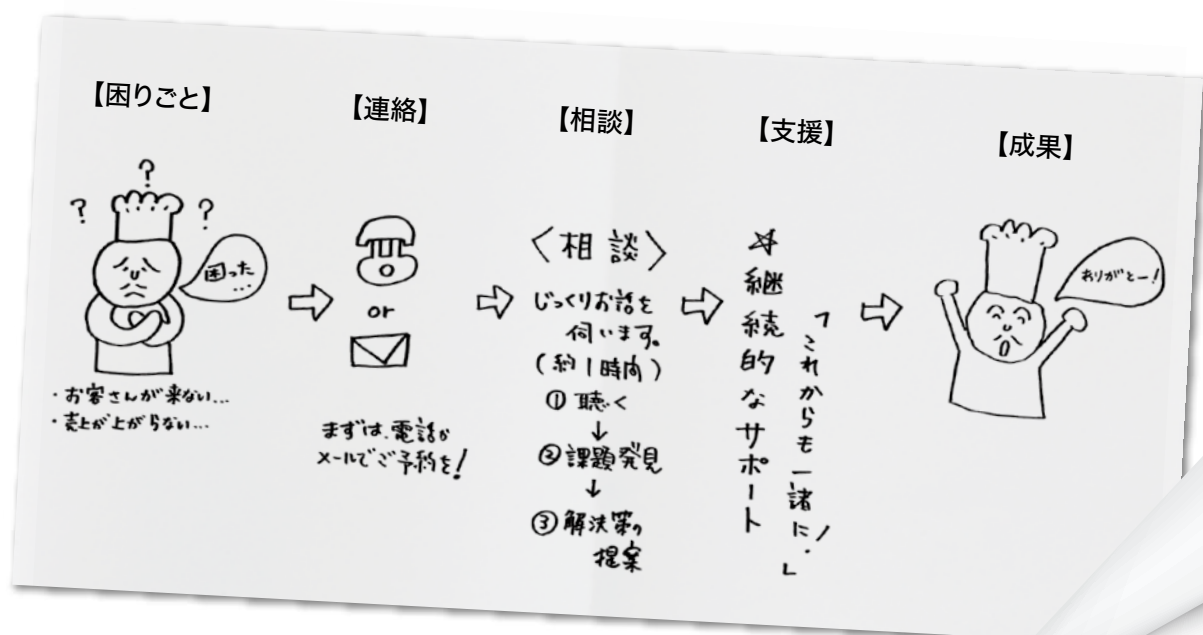


2021年度版

神奈川県よろず支援拠点

よろず 使の いかた

YOROZU no TSUKAIKATA



うまく
使ってる方達
教えます!

「知恵」を「提案」し、共に行動します！

神奈川県よろず支援拠点「提案力」で勝負！



チーフコーディネーター

森 智亮

◆IT活用による経営・業務改善、補助金申請、全業種対応

中小企業診断士・ITコーディネーター

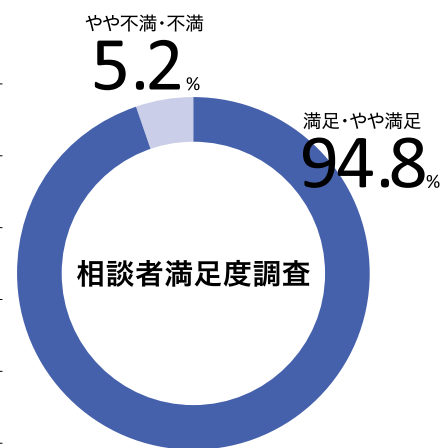
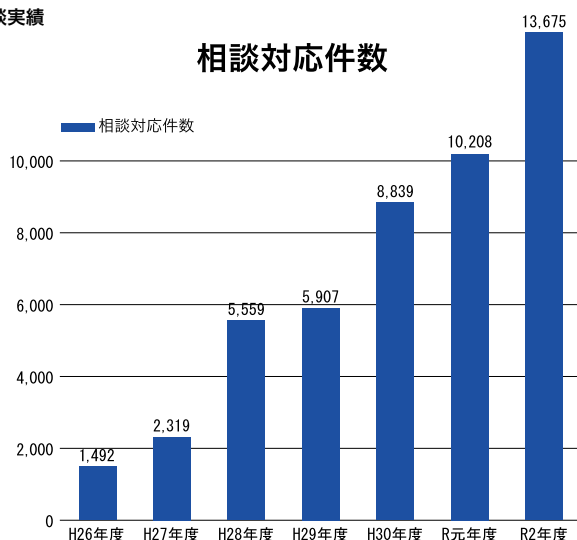
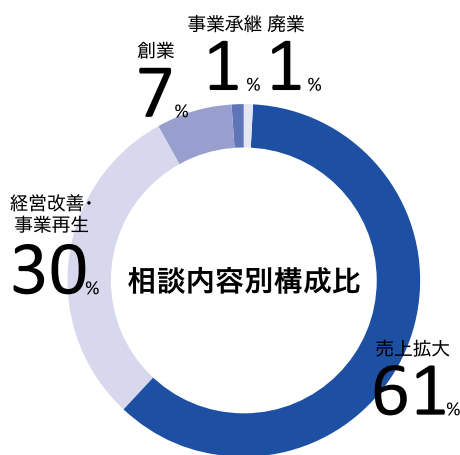
令和3年度は、26名のコーディネーターが様々な課題に立ち向かいます。

【1】解決が困難な経営課題に応じます⇒「**総合的・先進的アドバイス**」

【2】課題に応じて、チームを組んで支援します⇒「**チームの編成を通じた支援**」

【3】ネットワークを活用して、的確な地域の支援機関を紹介します⇒「**ワンストップサービス**」

■神奈川県よろず支援拠点 令和2年度相談実績



■神奈川よろず支援拠点 在籍コーディネーター 横浜(本部)

 井上 真伯 ●中小企業診断士 ●認定事業再生士 ◆事業再生、金融支援、ワンストップ対応	 浦川 拓也 ◆広報、メディア戦略、プレスリリース作成、ブランディング、マーケティング支援	 元山 茂樹 ◆コミュニケーション戦略、ブランディング、マーケティング、コンセプト開発、クリエイティブワーク	 富森 富士夫 ●中小企業診断士 ◆生産性向上・品質管理と共に、貿易業務全般に精通
 野口 世津子 ◆中小企業の販売促進支援全般、Webサイト、FB活用にも精通	 小池 俊介 ●中小企業診断士 ◆事業計画策定、財務・経営管理、新事業展開・経営革新、補助金支援	 酒井 和美 ●中小企業診断士 ●ターンアラウンドマネージャー ◆製造業の生産性改善、再生支援	 升田 寛 ●中小企業診断士 ◆創業支援、資金調達、財務管理、経営計画作成・実行支援
 濱田 良祐 ●中小企業診断士 ◆IT活用、人材育成、営業支援、経営計画策定	 山寺 哲二 ●中小企業診断士 ●社会保険労務士 ◆生産性向上、人事・労務管理	 竹本 正人 ●中小企業診断士 ◆販路開拓、マーケティング	 横山 真由美 ●中小企業診断士 ●事業承継士 ◆事業計画策定、販売促進、事業承継
 池田 耕介 ●弁護士 ◆法律	 狩倉 博之 ●弁護士 ◆法律	 渡部 英明 ●弁護士 ◆法律	 杉原 弘康 ●弁護士 ◆法律

お近くの 「よろず」へどうぞ!



●中小企業診断士

◆事業計画作成・実行支援、製品開発、IT活用による業務改革

清見 哲郎

相模原〈月・水・金〉
相模原市中央区中央 3-12-1
相模原市立産業会館 3F
TEL 080(5518)5058



●中小企業診断士
●キャリアコンサルタント
●二級知的財産管理技能士
◆経営革新・技術経営、商品開発、ものづくり支援・現場力向上

加藤 茂



●中小企業診断士
●1級カラーコーディネーター
[商品色彩]
◆マーケティング戦略支援、店舗開発(色彩)、ブランディング

高橋 玲子

県央〈月・水・金〉
海老名市下今泉 705-1
神奈川県立産業技術総合研究所 5F
TEL 046(292)4188



●中小企業診断士
●事業承継士
◆売上・売上力向上、事業承継、事業計画・新事業展開

坪田 誠治

川崎〈月・水・金〉
川崎市幸区堀川町 66-20
川崎市産業振興会館 7F
TEL 044(533)0355

相模原

県央

川崎

横浜

藤沢

小田原

横須賀

横浜(本部)

横浜市中区尾上町 5-80
神奈川中小企業センタービル 4F
TEL 045(633)5071



●中小企業診断士
◆経理・営業管理等、マーケティング戦略

天満 正俊



●中小企業診断士
◆経営改善、事業計画策定

片桐 新悟

小田原〈月・水・金〉
小田原市本町 4-2-39
小田原箱根商工会議所会館 4F
TEL 0465(23)0125

藤沢〈月・水・金〉
藤沢市藤沢 607-1
藤沢商工会館 5F
TEL 090(8597)0432



●中小企業診断士
●地域応援ナビゲーター
◆事業計画策定、ワンストップ、6次産業、農商工連携

山崎 隆由



●中小企業診断士
◆人事労務、再生支援、補助金申請フォロー

貝吹 岳郎



●中小企業診断士
◆事業承継、M&A、営業支援、創業

大野 順弘

横須賀〈月・水・金〉
横須賀市平成町 2-14-4
横須賀商工会議所 2F
TEL 046(821)1130

提案力×伴走力 〈よろずの支援事例〉

okomarigoto
コロナの影響で売上激減

感染拡大防止対策は、
事業者さまが既に
取り組んでいる。
改めて商圏分析
してみよう！

常連のよろず
升田さんに
相談しよう



WOW!
よろずへの相談から
2週間で申請に
こぎつける！

市瀬社長、補助金
申請書の勘所

1.現状把握

2.自社の強みと
経営環境の整理

3.打ち手を考え

4.効果の見通し
を明確にする

新興住宅街が広がっている！
ディナー用のテイクアウト
需要があるはずだ。
テイクアウトサービスに向け
国の「小規模事業者持続化
補助金（コロナ特別対応型）」
100万円を活用しよう！

「事業再開枠」
+50万円も活用、
換気設備を導入



補助金申請の
事業計画書作りは、
升田さんの
アドバイスが効いた！

大変な中でもできることから着実に取り組み、この難局を乗り越えなければなりません。同社は、こうした取組の結果、少しずつ客足が戻り、テイクアウトサービスの開始により収益性UP、生産性の向上につながっていています。元ヤマトトラックドライバーの市瀬社長が「おいしいものを届けたい」と始めたChinese Dining 鷹。担々麺は以前から私（担当：升田）も大好きでランチでよく食べに行っています。今後もおいしい担々麺を食べられるよう、しっかりと支援させていただきます。

事業計画、
ご相談ください

●神奈川県よろず支援拠点
TEL 045(633)5071 担当：升田 寛



よろずの支援事例

50年以上続く老舗和菓子屋を継続するため
昭和から平成、令和と変化するお客さまへ



代表取締役 星野 達哉
所在地 横浜市港北区大倉山3-63-12
TEL 045(531)6233
<https://wagashi-wakaba.jp/>

提

牽力×伴走力

有限会社 わかば

— 近隣主婦層に向けた「安心安全な本物の和菓子」の訴求と売れ筋以外を見切る生産計画改善

当店の和菓子は、こだわりの材料を使った無添加で作る和菓子。小さな子どもも安心して食べられる。近隣への周知不足解消に、ホームページリニューアルとブログでの情報発信を提案。リピーターになってもらうために、メニュー表の内容を改め、季節商品や旬の材料など詳細な説明を記した。常連顧客へは、愛顧のお礼を一言添え手渡す取組を行った。

売れ筋商品を中心に品ぞろえを調整し、生産計画の見直しにより、工場の稼働日を再設定。光熱費・人件費等のコスト削減に取り組んだ。

よろず担当者より



— 社長の思いを共有。一緒に改善。結果、売上20%増。営業利益計上。



相談者である社長は、50年以上続いてきた当店をなんとか継続していきたいという強い思いがあり、さまざまな改善に前向きに取り組んでいただいた。適正利益の確保に向け、価格帯の見直しをしていただいた。一時期は思うように進まないこともあったが、社長の「おいしい和菓子を届けたい」という思いを共有し社長のペースに合わせ、他の担当者や専門家と共同で取り組んだことが改善につながった。

季節の繁閑もあり、成果が出るまでには時間がかかったが、地道な取組とコロナ禍による近隣住民の地元消費の傾向が重なり、新しい顧客が多く来店するようになった。地域住民を中心に来店客が約10%増加し、売上20%の増加、コスト削減効果も表れ、直近決算では営業利益も計上した。

従来は、お菓子作りの意識が中心であった従業員もお客さまとの会話、接客への意識が高まった。

企業の声

— 足りなかったのは、お客さま視点

今まで自分たちで改善を考えても、よい案が浮かばなかったり、これではいかと悩むことが多かった。今回第三者から意見をもらったことは大変参考になった。特に、作り手側の視点で考えがちだが、お客さま視点で考えることの重要性を感じた。



●神奈川県よろず支援拠点
TEL 045(633)5071 担当：坪田 誠治





よろずの支援事例

提案力×伴走力



地域の「社会福祉貢献の使命」を永続発展するには

●神奈川県よろず支援拠点 TEL 045(633)5071

1992年に、先代が私財を投じて設立された、社会福祉法人 明星会。知的障害者施設「竹の子学園」を開設後、就労継続支援B型事業所やグループホームなどの事業展開を行い、小田原市、南足柄市における社会福祉サービスに寄与。法改正を含む福祉業界の変化、雇用環境の変化にあわせ、今後も運営を続けていくために、今何が必要なのか。

安定堅実な企業体としての組織力強化。労働生産性の向上を目指して、計画に着手



経営陣とともに、組織・労務・人事のマネジメント力UPのため、具体的施策を検討し実施。

①従業員アンケートによる現状把握 ②日報作成 ③経営管理について、管理職者勉強会の実施



役員・管理職合同研修

- ①従業員の経営や労働に関するものの意見を収集・分析した結果、経営陣が客観的に従業員の経営・労働に対する考え方を把握し、方向性を見出す。
- ②従業員へ日報作成を依頼し、労働量と負荷を測定した結果、従業員が労働時間の効率化を意識して勤務するようになった。
- ③経営者視点での経営管理のポイントを共有した結果、現場における労働生産性を意識した運営ができるようになった。

組織人員の一致団結をサポート。その結果、労働生産性4.8%UP

よろず担当者より

「営利ではなく公共福祉」の側面を持つ組織体を永続発展させるためには、外部環境を乗り越える組織力が必要となります。「経営改善に挑む経営陣の姿勢」と「社会福祉に貢献する従業員の慈愛の心」を組織で再認識した上で、管理職者の方々が主導し現場の生産性向上に取り組んでいました。改革途中ではありますが、「永続的に地域の社会福祉に貢献する」企業として新たなスタートを切ることができました。

※労働生産性：従業員1人当たりが生み出した付加価値額で、(利益+人件費+減価償却費)を労働投入量で除した生産性を測る指標



担当：天満 正俊



企業の声 生産性の向上が、収支バランスの改善につながることを知る

企業経営の視点から組織力強化に取り組むことができ、大変参考になりました。限られた収入予算の中で、どのように支出をコントロールし収支バランスを保てばよいのか悩むことが多かったが、労働生産性自体を改善する考え方は、経営管理の1つとして取り組む必要があると大いに感じました。



社会福祉法人 明星会
代表理事：安藤 進
業 種：社会福祉業
所 在 地：小田原市府川752-5
T E L：0465(32)7740
<http://myoujoukai.org/>



よろずの支援事例

提案力×伴走力



(株)FRPカジは自社技術に自信を持っていたがその技術力を正しく伝える方法が分からずにいた。そこでよろずが支援したのは…

今回の問題点

※1 FRPとは… Fiber Reinforced Plastic の略。繊維強化プラスチックのこと

顧客に本当の技術力を伝えられていない

外見的なできばえや感覚論で良い悪いが語られることが多いFRP業界(※1)にあって、当社は自社技術に自信を持っていたものの、他社と同様にできばえや感覚論でしかお客さまに説明できずにいた。良い仕事をしていても一般的な評価しか得られないのだ。これは、技術水準の高さを「見える化」できていないのが原因だった。しかし「見える化」するには、3次元計測器、X線CTなどさまざまな計測装置が必要で、高額のため資金面で二の足を踏んでいた。

設計から評価まで自社で行う

よろず支援拠点として、【計測装置】を核とした技術を生かす事業計画づくりから「ものづくり補助金」を活用した設備導入、R&Dセンター(※2)設立までに至る一連の支援を行った。

計測装置の導入により技術を具体的に数値化できるようになったため、お客さまからの信頼感が飛躍的に向上し案件も拡大。特に、企画・設計段階からの依頼案件も入るようになった。

※2 R&Dとは… 企業の研究開発業務および部門

解決するには

よろず担当者の提案



加藤 茂
コーディネーター



支援の結果



「FRPで困ったらFRPカジに任せる」

R&Dセンターを開設し、設計から製造までの社内一貫体制が実現。「FRPで困ったらFRPカジに任せる」という認識が生まれている。定量的な仕様設定が可能になり、大手ゼネコンなど大企業からの直接の引合も増加。

また、発注通りにものを製作したとしても自社でFRP評価を行える体制を持っている事業者はほとんど存在しないため、R&Dセンターのみの新規評価の受注もある。新規案件は最高性能を求められる案件も多く、利益率も1.5倍向上した。

R&Dセンター開設により、従来からの製品、工法に関しても、定量的に合否判断が可能となり、良品率もさらに向上した。

株式会社 FRPカジ

所在地：足柄上郡山北町都夫良野2-1 代表取締役：梶山 礼子

創立：2014年 従業員：9名

<https://frpkaji.co.jp/>

●神奈川県よろず支援拠点 TEL 045(633)5071



よろずの支援事例

提案力×伴走力

Zoomをつなぎっぱなしで ほぼリアルな コミュニケーション



株式会社 スタディパーク

よろずでは、2年前から事業戦略の相談にのっており、コロナ発生以降は資金繰り対策を中心に対応していました。相談対応する中で、従業員とのコミュニケーションに関する課題も話題となり…。

●神奈川県よろず支援拠点 TEL 045(633)5071

I 相談のきっかけ

当学習塾で従業員とのコミュニケーションに関することが話題となり、週1に全店講師を集め共有化を図っていたが、コロナによりZoomミーティングのみになっていることを知る。

II 課題整理

- ① コロナ禍で現実的にリアルで大勢で会えない
- ② 顧客品質を保つためには深い共有化は必須
- ③ 過大な投資は避けたい

III 強み・特徴

- ① 当学習塾は、タブレットを利用した学習モデルを構築しており、講師のITスキルは高い
- ② 経営者と従業員とのコミュニケーションは良好で、従業員の年齢層が比較的若い
- ③ 生徒の学習状態はデイリーに把握する仕組みを構築しており、毎日でも共有化が図れると顧客満足度向上に直結しやすい

◆相談者の声◆
専門家の方とは、経営戦略の方向性をご相談したところからのお付き合いです(補助金申請や、経営革新計画の申請含め)。今回のZoomつなぎっぱなし運用も別件での会話の中からひろってもらい、実施してみたら予想外に効果があったと感じています。現在は、従業員のやり取りのためのZoomつなぎっぱなし利用ですが、帰宅後の生徒向けも検討中です！



会社名 ● (株)スタディパーク

代表者名 ● 佐藤 雄太

所在地 ● 横須賀市根岸町4-39-21

TEL ● 046(876)9699

事業内容 ● 2011年設立 学習塾4校運営



IV 解決策の提案と実施

<提案>

- ☑ もともと利用していたZoomをつなぎっぱなしで使ってはどうか
- ☑ デイリーで共有化すべきことがあり、顧客満足度向上につながるなら毎日実施してはどうか

<実施>

- 始業開始からZoomをつなぎっぱなしにし、初めの15分程度は毎日全体ミーティング
- その後はZoomをつなぎっぱなしで、何かあれば、対話を行う
⇒ 実際隣の席にいるような感覚での運用
⇒ Zoomの有償アカウント料金のみなので投資額小

V 支援の成果

- ① いっそうコミュニケーションが活発化し、生徒のための会話の格段に増えた
- ② リアルでの会議を週1で実施していたが、現在は月1に減らし、時間コスト両方削減
- ③ 生徒の学習状態を担当講師以外の講師にも気軽に共有でき、サービスの質が高まった



生徒の受講状況のデータ(デイリー)をベースに講師陣が検討、実行

◆支援者の声◆
Zoomのつなぎっぱなし運用は実は製造業の現場で事業者の方から教えていただきました。Zoomは確かに便利ですが、ちょっとしたことや、あえて事前に連絡してつないでもらってまでは、という内容も現実には多々あります。それを少しでも解消するのがつなぎっぱなし運用です。提案してから、実行の早さが社長のスゴイところです。

横須賀サテライト
貝吹 岳郎コーディネーター





よろずの支援事例

提案力×伴走力

神奈川県よろず支援拠点では、事業者に出向き、改善のご提案をしています。
このコーナーでは、事業者から「やってよかった!」といただいた声をシリーズでご紹介しています。

有限会社さがえ製作所

代表取締役社長 寒河江 清

主要事業：精密部品製造

創業：1948年

主要顧客：大手文房具メーカー、自動車部品製造、
畜産機器メーカー他

所在地：厚木市戸田1831-2

TEL：046(228)7456



ISO9001認証への取組を現場に活用!!

製品不良率 **DOWN** お客さまの信頼 **UP**



始業時点検表とゲージ使用時点検表

ご支援のきっかけ

「私たちの製品を信頼し、お客さまにもっと安心して使っていただきたい。そのためには、ものづくりを支える仕組みの強化と、全社員の参加が必要不可欠」—経営者のその思いから、ISO9001 認証取得への取組がスタートしました。

取組内容

ISO9001 の要求事項を学びながら

- ①引き合い～納品までの仕事を洗い出し、業務フローを作成
- ②ものづくりに係るルールを整備し、必要な帳票、手順書を作成、でき次第、実際に現場で活用
- ③当社のものづくり憲法(品質マニュアル、各種規程類)を整備中

社長より

日々の仕事の内容を改めて可視化し、結果等を丁寧に記録することで、高品質を維持、製品不良率を下げることができました。取引先の監査で高評価をいただき信頼を得たことで、社員のやる気向上にもつながっています。

— よろず担当者より —

ISO取得は目標ではなく手段。従って、規格の精神をどう現場に生かすかを中心に、「できるだけわかりやすく」「当社の業務に即して」ご支援しました。

- ①ISO規格の意味を当社の業務に即してご説明し、具体的な取組を提案、②品質マニュアル、プロセス図、作業手順書等の文書体系全体を提示、③当社が作成した仕事のフロー図、規程類、帳票類のレビューに参画し、記載内容を確認。円滑な運用ができるためのサポートを実施

相模原サテライト
清見 哲郎 コーディネーター

ISOの取得もご相談ください! ●神奈川県よろず支援拠点 TEL 045(633)5071

川崎・新丸子『菓心 桔梗屋』、コロナ禍で花火大会中止の夏に みんなでつくる『おうちで花火大会』8/13(木)発売開始! ～昭和42年になくなった丸子多摩川花火大会を復活させよう～

創業61年目を迎える川崎・新丸子の老舗和菓子屋「菓心 桔梗屋(ききょうや)」は、コロナ禍で全国の花火大会が中止になる中、少しでも花火大会の気分を味わってもらおうと、みんなでつくる『おうちで花火大会』という和菓子を期間限定で発売。丸子地域の人達が復活を望む、昭和42年8月を最後に中止になった丸子多摩川花火大会を、和菓子で再現できるようになっています。発売期間は8/13～8/22の9日間、限定100セット。ご家族みなさまで楽しんでいただける内容になっています。是非ともご注目ください。

※ 丸子多摩川花火大会を復活させる会の皆さまに応援いただいています。



【丸子多摩川花火大会の歴史】

「丸子多摩川花火大会」という名称で第一回目の大会が行われたのは、太平洋戦争のはじまる2年前の昭和14年(1939年)8月6、7日とされている。打ち上げは、当時川崎側の河原にあった東急自動車学校の敷地で行われた。昭和24年(1949年)には、「日本一丸子多摩川大花火大会」と銘打って開催。主催は「日本煙火協会」、後援の欄には毎日新聞社、東京日日新聞社、サン写真新聞社、東京都、神奈川県、川崎市、東京急行などが記されている。戦時中は中断していたが、戦後復活時には30万人の人出があり、昭和32年の開催時には、100万人を超える人出があったとされています。 ※ 丸子多摩川花火大会を復活させる会のHP

【『おうちで花火大会』とは】

- ①花火を模した6つの生菓子和小さな袋入りの金平糖が入っています。
- ②丸子多摩川花火大会の歴史と、6つの和菓子のお品書きが入っています。
- ③丸子橋付近の夜景の写真(A3サイズ)が入っていますので、この写真の上に生菓子和金平糖を置いて、花火大会の夜空を再現してください!(上記写真中央)

【お店情報】

店 名 菓心 桔梗屋

代 表 須田 義孝

所在地 神奈川県川崎市中原区新丸子町754

U R L <http://kikyoya.net/>

『日本料理の慈こう』コロナ禍に負けまいと新サービス企画 三浦半島で釣った魚をお歳暮に『魚歳暮サービス』スタート! 釣り自慢集まれー!料理人が腕によりをかけて加工品にします

日本料理の慈こうは、コロナ禍のなか激減する飲食需要に少しでも対抗しようと、新サービス『魚歳暮(ぎょせいぼ)サービス』を企画した。三浦半島は人気の釣りスポットだが、釣った魚を家に持ち帰っても捌けないなど持て余す釣り人も多い。そんな声を聞き、釣った魚を加工品に変え、贈り物に変えてあげるサービスはどうだろうと考案した。今年のお歳暮は『魚歳暮』で。料理人の腕を商品化するサービス、ぜひともご注目ください。

【取り組みの背景】

コロナ禍の中、法事や仕出しなどをメインに飲食業を運営する当店は大打撃を受けた。こんな時だからこそ地域の人が喜ぶことはできないかと、釣り人の釣った魚を加工するサービスをモニター実施。この取り組みを神奈川県のある支援拠点に相談したところ、「今お歳暮の市場が減っている。これまでのハムや缶詰、ありきたりなものに消費者は飽きている。だからこそ、自身が釣った魚をお歳暮にできたらヒットするのでは?」と、『魚歳暮』の提案を受けた。加工サービスのモニターも好評、保健所からもOKをもらって、思い切って本格的なサービスに落とし込んだ。

『魚歳暮サービス』の流れ



【取り組みへの想い】

この取り組みをやってみて感じたのは、思いのほか本当に喜んでくれる、という実感です。釣った魚を帰宅して自分で捌く元気もないし、奥さんをお願いしても嫌がられたりして、釣り人は結構苦労していました。それが数日後に加工されて真空パックで届くと、家族が本当に喜ぶんだそうです。一人暮らしの人などは自分ひとりで食べきれないし、近所に配るのも大変でと。この『魚歳暮サービス』で、もっともっと三浦半島に釣りに来てもらって、この辺がにぎやかになればと思っています。

【お店情報】

店 名 『日本料理 慈こう』

代 表 石坂 昌司

所在地 神奈川県三浦市初声町入江80-1

U R L <https://jikou.info/jikou/>

TVチャンピオン極〜チョーク看板職人選手権〜準優勝が教えます！ コロナ禍の飲食店応援企画『シズルボード(看板)講座』開催 ～初心者でも簡単!2時間であなたも手描き看板職人～

デリシャス金城こと金城まみが、新型コロナの影響で集客に困っている飲食店向けに、初心者でもちょっとコツをつかめば誰でも上手に書けるようになる『シズルボード(立て看板)』の手描き講座を3日間開催。テイクアウトの告知、新たな取り組み、キャンペーンなどの広報にお役立てください。



【取り組みの背景】

コロナ禍で近隣の飲食店がテイクアウトを始めた際、紙に書かれたメニューと値段表記、何を販売しているのかわかりにくく、足を止める人が少ない様子を見て、店頭看板にシズルボードが最適なのではと思いました。シズルボードは、コロナ禍のめまぐるしい変化の中、広告を印刷に出す手間やタイムロスが省けます。手描きによって迅速にPRすると同時に、人との繋がりや人恋しさを感じる今、看板の向こうに“人”を感じられることで、お店のファン作りをすることも可能です。食べ物をおいしそうにシズル感満載に描くことから「デリシャス金城」のキャッチコピーでTVチャンピオンに出場、準優勝したチョークアーティストが、五感を刺激し、手描きのあたたかみに思わず足を止める「シズル看板」の描き方を2時間で伝授します。

※ シズルとは、ステーキが焼ける熱々の湯気や音、瑞々しい野菜にしたたる水滴、天ぷらの衣のサクサク感など、五感を刺激するような臨場感のことです。



【シズルボードの誕生】

シズルボードは水拭きで消せるので、日替わりメニューや期間限定商品の告知に最適です。自身の花屋時代に感じた「限られた時間で素早く描いて消せる、効果的にアピールできる看板が欲しい!」という思いから生まれました。ベースの看板と画材の相性、手法や表現法を独自に研究し、シズル感による訴求力・ファン作りに特化。講座の受講により集客力がアップし「受講料の何十倍もの集客、売上に繋がった」とのお声も頂いています。

【お店情報】

店 名 Orangette Chalkart(オランジェット・チョークアート)

代 表 金城 まみ

所在地 神奈川県大和市南林間2-11-19 陽光ビル3階 3-A

URL <https://www.orangette-chalkart.com/>

座間の飲食店グループ「アルカディア」がスイーツ販売にチャレンジ! コロナを斬る!『7人の侍スイーツプロジェクト』始動 7人の料理人が1品ずつ、第一弾は「濃厚・不死鳥プリン」で勝負

座間・相模原地域で5店舗の飲食店を運営するアルカディアは、コロナ禍で宴会や会食が減少する中、店舗存続をかけ、当社の料理人7人がそれぞれに腕を振るってオリジナルスイーツを開発する『7人の侍スイーツプロジェクト』を始動。第一弾は「濃厚・不死鳥プリン」。これまでお弁当やおせちの販売等々、地域の皆さんに喜んでもらおうと小売りに注力してきた取り組みの一環だ。コロナ禍によってビジネスのルールが変わった今、スタッフの強みを活かして生き残りをかける。ぜひともご注目ください。

【取り組みの背景】

コロナ禍の中、忘年会や新年会は全面的にキャンセルとなった。店に来てもらえないのであればと、店舗から半径50メートル程に絞って地域住人の皆さんへお弁当やおせち料理のチラシをポスティングしてみたところ大きな反響があり、皆さんが支えてくれることに驚いた。「よし!」うちの会社は地域の皆さんと共にあるんだ、地域の皆さんを楽しませるんだと心に決め、中小企業のなんでも相談所、神奈川県よろず支援拠点と共に『7人の侍スイーツプロジェクト』を企画。7人の料理人がオリジナルスイーツを一から開発して提供する。不退転の気持ちを「侍」に例えたプロジェクト名である。



【濃厚・不死鳥プリン】

相模原の養鶏場「小川フェニックス」の卵を贅沢に使った濃厚なプリン。小川フェニックスの名前と、絶対にコロナ禍の苦境から羽ばたいてやるという気概を込めて「濃厚・不死鳥プリン」とネーミング。



濃厚・不死鳥プリン1個400円(税別)

【地域と共に生きていく】

コロナ禍で感じるのは、助けてくれるのは地域の人々だということ。従業員総出でポスティングしたチラシを見て、予想以上のおせち料理を購入してくれ、本当にうれしかった。コロナ禍前の売り上げには中々至らないが、皆さんから勇気を頂いた。手作りスイーツを食べてもらいたいと思ったのも、とにかく皆さんに喜んでもらいたいからだ。これまでの飲食店にこだわらない、地域に愛される取り組みをどんどんやっていきたい。

【お店情報】

会社名 アルカディア

代表 三浦 睦夫

所在地 神奈川県座間市相模が丘1丁目20-48

URL <http://www.arcadia-inc.co.jp/>

コロナの影響で解雇を転機に、好きを仕事に一念発起！ Instagramで話題に!刺繍作家として出版デビュー実現 ～“巣ごもり”を充実させる「自分時間」を提案～

embroidery artist (刺繍作家)suzu氏は、2021年3月1日にthe ribbon knot (ザ・リボンノット) を設立、同年3月18日に初刊「少ない色数でも楽しめる 総柄刺繍」をKADOKAWAから出版。コロナ禍の生活に温かみをもたらす手刺繍作品を提供するとともに、巣ごもり需要で関心が高まる手芸業界に、初心者の方でも取り組みやすく満足度の高いデザインを提案する。ストレスの多いこの時代にこそ、自分を大切にする時間「自分時間」を作って、自分のために、大切な人のために、ひとつふたつと刺繍してみたい。



【the ribbon knotについて】

embroidery artist suzuは、コロナ禍の影響で、スタイリストとして勤めていたウェディングドレスの製作会社を解雇された。ハローワーク等を通じ求職活動もしたが、厳しい現実と直面し、断念。それなら思い切って「好きを仕事にしてみよう」と、これまでやってきた刺繍を仕事にすることを決心し、「the ribbon knot」を設立した。

【事務所設立から短期で出版を実現】

経営知識ゼロだった30代女性が、国が設置した経営相談所であるよろず支援拠点や知財総合支援窓口への相談等を最大限に活用し、家族の後押しも受けて、コストゼロでスタートした。ビジネスが動き出すきっかけはInstagramへの投稿。一針、一針、刺繍を仕上げていく様子を動画で上げることで、仕事の依頼も来るようになり始めたころ、出版社からオファーがあった。

【家族だけの「総柄刺繍」を作ってもらいたい】

総柄刺繍は、小さいマークのような柄である。Tシャツの胸にワンポイント、これから入園・入学するお子様の手提げ袋にワンポイントと、オリジナルの刺繍を家庭それぞれで作って欲しい。お母様の愛情がお子さんに末永く伝わるような、親から子へ、子から孫へと代々受け継がれる家紋のような存在になってくれたら…そんな想いで今回の出版を実現した。

【お店情報】

the ribbon knot (ザ・リボンノット)

embroidery artist suzu

Instagram <https://www.instagram.com/the.ribbon.knot/?hl=ja>

横浜の金属加工業、中谷製作所が新分野、音響機器開発に挑戦 窓口の「聞こえづらい」を解消する『アシストボイス』発売 アクリル板越しでも高齢者安心、横浜市の行政窓口で続々採用

横浜の金属加工会社、中谷(なかや)製作所は、コロナ禍の中アクリル板越しでもスムーズに会話ができる振動スピーカーシステム『Assist Voice(アシストボイス)』を4月より販売開始。行政での実証実験でも高評価を得て、高齢者の多い行政窓口などで続々と採用されています。コロナ禍の中、難しいコミュニケーションを円滑にする新商品、ぜひともご注目ください。



【『Assist Voice(アシストボイス)』の詳細】

- ・高音質な平面波の音が、貼り付けたシールド両面から音が聞こえる。
- ・取り付け、移設が簡単(工事不要)。
- ・音が広がらずプライバシーを確保でき、音量を変える必要なし。
- ・子機はデジタル無線対応、1フロアあたり80台設置しても混線しない。
- ・ハウリング対策、周波数制御、通信遅延制御、省エネ対応。

【今後の展望】

平面スピーカーは従来の箱型スピーカーと比較して語音を聞き取りやすい傾向にある検査結果が出ている。今後更なる研究を行い、超高齢化社会における加齢性難聴をきたした高齢者が不自由のない環境が得られる可能性がある。また、アシストボイスの使用方法を改良し、ソーシャルディスタンスを保ちながら複数と複数の会話、隔離した空間同士の会話、壁越しの会話が可能となる。今後は飛沫感染対策、防犯対策、医療現場、接客業務のある職場など国内外あらゆる分野に広げていきたい。

【お店情報】

会 社 名 中谷製作所

代表取締役 中谷 孝芳

所 在 地 神奈川県横浜市鶴見区駒岡5-5-44

U R L <http://www.nakayaseisakusyo.jp/>



神奈川県よろず支援拠点



公益財団法人 神奈川産業振興センター

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル4階

TEL:045-633-5071 FAX:045-633-5194